

秋晴れの下、町民駅伝大会 たすきを肩に健脚競い合う

10月10日、町民駅伝大会が旧船越公園南側駐車場をスタート・ゴールとし、町道海蔵寺線を折り返す2.1kmのコースで行われました。参加した70チーム、366人の選手は、沿道に詰め掛けた父母らの声援を受けながら、たすきを肩に健脚を競い合いました。熱戦の結果、小学生の部では、男子が「山田南走ろう会」、女子は「チーム南魂！」がそれぞれ優勝。11月7日に奥州市で開かれる「スポニチ奥州前沢マラソン」への派遣が決定しました。そのほかの部門の優勝チームは次のとおりです。

▷高校・一般男子…放課後RunRun倶楽部 同女子…山田中バドミントン部B 中学生男子の部…山田中駅伝部A 同女子…山田中駅伝部A

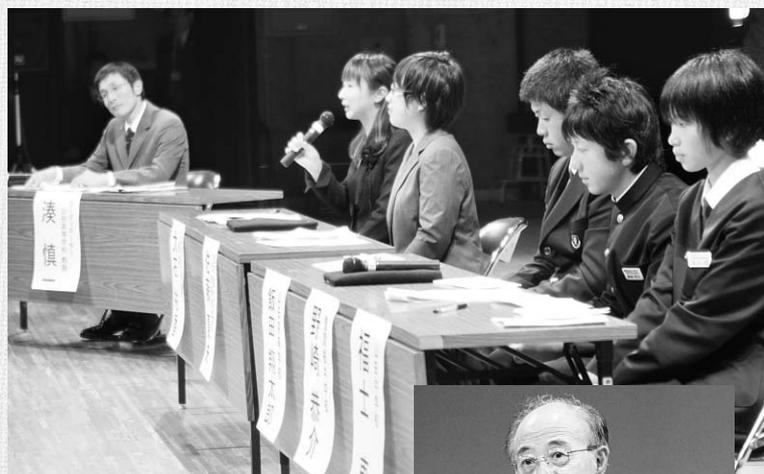


朱振南・南奎雲友好書画展 水墨画と書の世界に触れる

町の芸術文化推進の一環として、10月1日から3日まで町中央公民館で朱振南・南奎雲友好書画展が開かれました。朱さんは国立台湾科技大学の駐校芸術家を務める傍ら、欧米各地で展覧会を開いている書画家。南さんは盛岡市在住で現代日本を代表する書家です。会場には朱さんの太陽が棚田を照らす色鮮やかな書画や、南さんのダイナミックに仕上げた書など合計100点が展示されました。3日間で町民ら320人が会場を訪れ、斬新な水墨画と書の世界に触れていました。また、10月2日には南さんによる書道実技講演会が開かれ、町内の書道愛好家など20人が、書道の手ほどきを受けていました。

中高連携推進事業シンポジウム 生徒らが職業観を語り合う

10月1日、山田町中高連携教育推進事業としてシンポジウムと講演会が町中央公民館で開かれ、山田・豊間根中の3年生と山田高校全校生徒、保護者など650人が参加しました。シンポジウムでは、本町出身の大石祐香さん（山田幼稚園教諭）、佐藤夏未さん（岩手県立大1年）、と生徒代表の飯田翔太郎君（山田高3年）、野崎恭介君（豊間根中3年）、福士恵さん（山田中3年）が壇上に上がり、「職業観と地域社会を考える」をテーマに意見を述べ合いました。大石さんは「小さなことでも目標を持つべき」と呼び掛け、佐藤さんは「見方を変えられるようなカウンセラーになりたい」と将来の夢を語りました。このあと、元国連事務次長の明石康さん（秋田県大館市出身）による講演が行われ、国連勤務時代の貴重な体験を交えながら英語を学ぶ大切さを訴えていました。



シンポジウムの様子（上写真）／元国連事務次長の明石康さんの講演が行われました





今月の題字
みか
佐々木美香ちゃん
(大浦小2年)

町のわだい

農業まつりに2,700人が来場 4年ぶりのイベントを満喫

10月24日、「山田農業まつり」が4年ぶりに行われました。山田の農業を盛り上げようと、山田農業まつり実行委員会（藤原長一実行委員長）が主催となり開催したもので、会場の船越公園芝生広場には2,700人が来場しました。天候に恵まれたこの日は朝から客足も好調。新鮮な野菜などの販売コーナーでは、時価より2～3割も安いとあって飛ぶような売れ行きを見せるなど、にぎわいを見せていました。また、山田第一・第二保育所の園児による演奏や踊り、後藤竹春さんの三味線演奏に訪れた人は復活した秋のイベントを満喫していました。



町民体育祭に1,200人 豊間根地区が6連覇を達成

今年で39回目を迎えた町民体育祭が10月3日、町民グラウンドを会場に開かれました。当日は穏やかな日差しが差し込む絶好のスポーツ日和。会場には町内11地区から1,200人が集まり、競技に応援に熱い戦いを繰り広げました。競技はお馴染みの綱引きやボール送りなど全10種目。選手の皆さんは、優勝を目指し各種競技に熱中し、随所にハッスルプレーを見せていました。結果、優勝は7種目で最高得点を獲得した豊間根地区で、6連覇を達成。準優勝は大沢地区、3位は船越地区でした。

細川流舞踊から善意 福祉の向上にと10万円寄付

新舞踊の細川流舞踊（家元・細川艶奨柳さん）が町と山田町社会福祉協議会に10万円を寄付しました。9月26日に町中央公民館で開催した福祉基金チャリティー発表会の益金を贈ったものです。贈呈式は10月6日、役場町長室で行われ、細川家元ら5人が出席。沼崎喜一町長と佐藤實同会会長に寄付金を手渡しました。これに対し沼崎町長は「これからも活動を継続してください」と話し、佐藤会長は「素晴らしい活動での益金を有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

